



人工関節センター

Joint Reconstruction Center 2015年11月発行 News

地方独立行政法人



りんくう総合医療センター

RINKU GENERAL MEDICAL CENTER

〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地23号
TEL 072-469-3111 (代表) / FAX 072-469-7929

ウィーンからの国際人工関節学会だより

2015年9/30から10/3にオーストリアの首都ウィーンで開催されたISTA (International society for technology in arthroplasty) に数野・澤田で参加しました。3年前のシドニー・昨年の京都に引き続き、3度目の参加になります。オーストリアは北海道とほぼ同じくらいの大きさで、ドイツからドナウ川が流れ込み美しいヴァッハウ渓谷を形成し「美しく青きドナウ」のイメージにぴったりの世界で、その美しさからヴァッハウ渓谷は2000年に世界遺産に登録されています。またオーストリアにはもう1つ世界遺産があります。それはウィーン東西部にあるシェーンブルグ宮殿で、女帝マリア・テレジアやマリー・アントワネットが育った豪華で高貴な宮殿として1996年に世界遺産登録されています。ウィーンは皆さんご存知の通り音楽の都であり、その象徴である国立オペラ座は豪華で最上の音色を提供する劇場として世界的に有名です。ウィーンの気候は緯度が北海道より少し高いため、関西国際空港出発時は少し暑さが残るような感じでしたが、ウィーン到着時は少し肌寒さを感じました。ただ学会ではこの気候と異なり、世界28か国から集まった

世界をリードしていく関節外科医で人工股関節・人工膝関節の最新的话题を発表・討論し熱を帯びていました。また今回は日本からの参加が多く、日本での手術・研究などが世界をリードして



▲ISTA2015 in Viennaでの発表の様子

ているように感じました。

今回はわれわれは、2つの演題「**日本製の人工股関節で脱臼予防・脚長補正における人工股関節の緊張度**」、「**当センターで行っている人工膝関節の手術法であるHybrid navigation technique**」を発表して参りました。発表はとても好評でフロアからの関心も非常に高く、世界の関節外科医と討論し交流できとても有意義な学会でした。

ISTA Awards発表など今回のISTA国際学会を通して…

今回のAwardの発表は「**世界で進化してきている Surgical Roboticsについて**」「**セメントを使わない人工膝関節の固定性について**」でした。Surgical Robotに関しては、泌尿器科領域から始まり現在に至るまでの歴史・進化の過程など開発の苦労や手術の安全性・正確性が向上し評価されたと思います。また人工膝関節に関しては、現在の人工膝関節は主にセメント固定を行っていますが、セメントを使用せず、同等の固定性が得られる人工膝関節という点で評価されたと思います。また今回の学会を通じて私自身が感じたことは、人工股関節において**Short stem/Mini hip(短い人工関節)**の発表が多かったことです。Short stem/Mini hipは骨温存(自分の骨を残す)する利点があり、初期固定性の点が懸念されますが、今回の発表では初期固定性・臨床成績・耐久性には大きな問題がないとの報告でした。現在、日本でもShort stem/Mini hipが使用され始めており、当センターでも日本製の比較的短い人工関節でできるだけ骨温存するように手術を行っています。またこの人工関節は当センター以外に日本の人工関節センターでも使用されており、他施設からのデータ・当センターからのデータも含め、初期固定性に問題なく臨床成績も良好であることを報告しています。

またもう1つ気になったことは、当センターでも行っている**UKA(人工膝関節部分置換術)**の発表でした。San Diego(アメリカ・カリフォルニア州)のグループの発表でしたが、この手術を日帰り(外来手術)で行い、安全性・治療効果の面で問題なくとも効率性が良いのでこの手術をルーチン(日課)にしているとの内容でした。世界の人工関節の入院期間はこのように短くなってきており、**人工膝関節部分置換では当日・人工股関節では3日・人工膝関節全置換では4日**(医療保険制度・在宅リハビリの利用・国土の広さなど相違はある)であります。現在、当センターでは人工膝関節部分置換は2週間の入院となっておりますが、今後1週間にできるのではと、麻酔科・リハビリ・ナースサイドと検討しているところです。また人工股関節や人工膝関節全置換術に関しても、2-3週間の入院を7-14日以内にできたらと考えています。手術の正確性・術後成績に関しては世界と同等であります。早期回復の点ではまだまだ努力が必要であります。

ドナウ川遊覧からの美しい
ヴァッハウ渓谷(2000年世界遺産)



▲ウィーン東西部にあるシェーンブルグ宮殿(1996年世界遺産)

これからも安心・正確な人工関節手術を行い、尚且つ早期回復できるよう努力していきます。